

# 野村フランチャイズ・パートナーズ・ 世界株式ファンド Aコース／Bコース (野村SMA・EW向け)

## 運用報告書(全体版)

第1期(決算日2022年12月6日)

作成対象期間(2022年8月22日～2022年12月6日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2022年8月22日以降、無期限とします。	
運用方針	野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として世界各国(新興国を含みます。)の株式(DR(預託証券)を含みます。)を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジ(先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。)により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。ただし、代替ヘッジによっても為替変動リスクの低減の効果が小さいあるいは得られないと判断した通貨については、為替ヘッジを行なわない場合があります。	実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
主な投資対象	野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式ファンド Aコース/Bコース(野村SMA・EW向け) マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 世界各国(新興国を含みます。)の株式(DR(預託証券)を含みます。)を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式ファンド Aコース/Bコース(野村SMA・EW向け) マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ＜Aコース＞

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株式 組入比率	株式 先物比率	純資 産額
		税 分	込 配	み 金			
(設定日) 2022年8月22日	円 10,000		円	—	%	—	百万円 149
1期(2022年12月6日)	9,786		0	△2.1	93.2	—	1,058

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっていないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落	騰 率	騰 率		
(設定日) 2022年8月22日	円		%	%	%	%
8月末	10,000	9,603	△4.0	97.0	—	—
9月末	9,603	8,909	△10.9	84.4	—	—
10月末	8,909	9,343	△6.6	91.5	—	—
11月末	9,343	9,693	△3.1	94.9	—	—
(期 末) 2022年12月6日	9,693	9,786	△2.1	93.2	—	—

\*騰落率は設定日比です。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ＜Bコース＞

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分 配	込 み 金	騰 落 率			
(設定日) 2022年8月22日	円 10,000	円 —	円 —	% —	% —	% —	百万円 1
1期(2022年12月6日)	9,908	0	△0.9	94.6	—	—	1,359

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっていないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
(設定日) 2022年8月22日	円 10,000	% —	% —	% —	% —
8月末	9,679	△3.2	96.2	—	—
9月末	9,328	△6.7	83.4	—	—
10月末	10,042	0.4	91.3	—	—
11月末	9,922	△0.8	95.3	—	—
(期 末) 2022年12月6日	9,908	△0.9	94.6	—	—

\*騰落率は設定日比です。

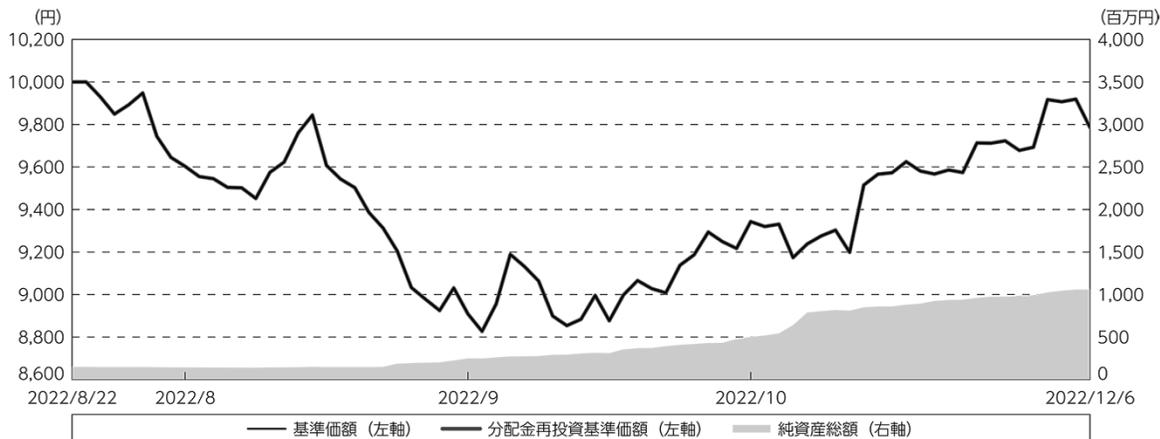
\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## <Aコース>

### ◎運用経過

#### ○期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期末：9,786円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 2.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

#### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時10,000円から期末9,786円となりました。

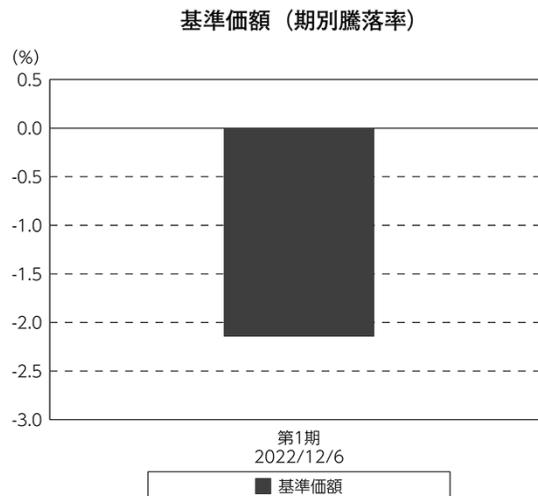
- (下落要因) 2022年8月、ワイオミング州のジャクソンホールで開かれた経済シンポジウムにおいてFRB（米連邦準備制度理事会）のパウエル議長がインフレ抑制を最優先に利上げを継続する方針を示したことで、早期の利下げ期待が後退し、株式市場が下落したこと。
- (下落要因) 9月、FOMC（米連邦公開市場委員会）での利上げ幅は市場予想の範囲内ではあったものの、インフレが抑制されるまで利上げを継続するという米金融当局の姿勢が改めて示され、株式市場が下落したこと。
- (上昇要因) 米国主要企業等の7-9月期決算内容を受けて、株式市場が上昇したこと。
- (上昇要因) 10月の米CPI（消費者物価指数）上昇率が市場予想を下回ったことで、FRBによる利上げペースの減速期待から、株式市場が上昇したこと。

## <Aコース>

### ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っていないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

### ◎分配金

収益分配については、基準価額水準等を勘案して見送らせていただきました。  
留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第1期
	2022年8月22日～ 2022年12月6日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	416

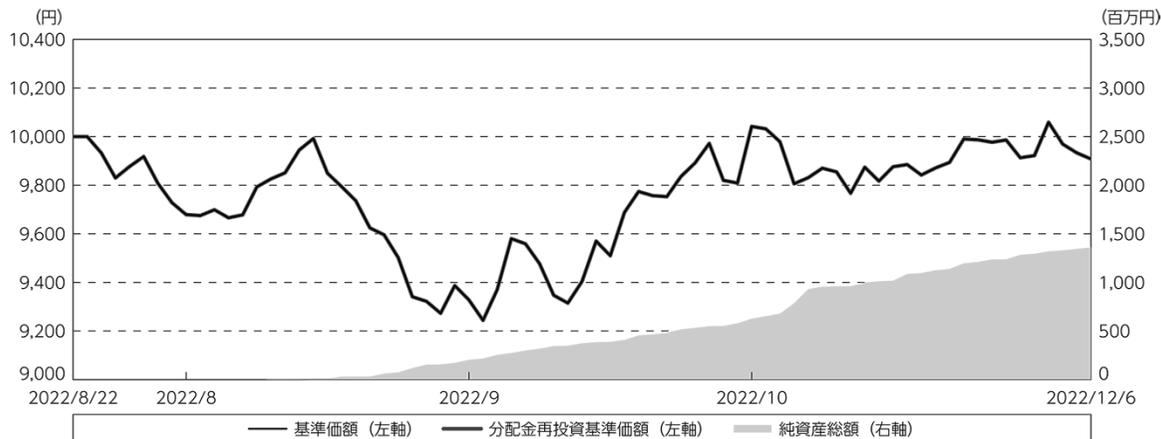
(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ＜Bコース＞

## ◎運用経過

## ○期中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時10,000円から期末9,908円となりました。

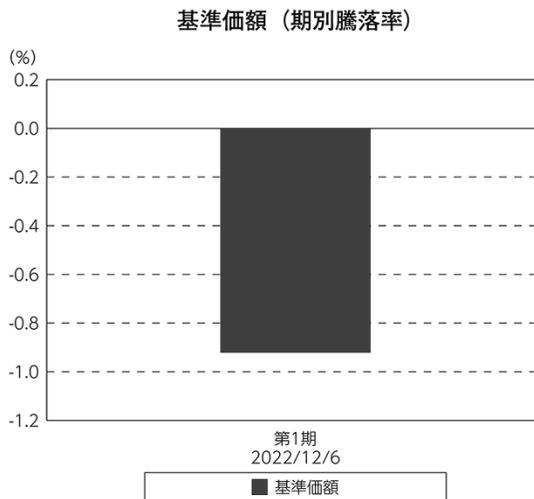
- (下落要因) 2022年8月、ワイオミング州のジャクソンホールで開かれた経済シンポジウムにおいてFRB（米連邦準備制度理事会）のパウエル議長がインフレ抑制を最優先に利上げを継続する方針を示したことで、早期の利下げ期待が後退し、株式市場が下落したこと。
- (下落要因) 9月、FOMC（米連邦公開市場委員会）での利上げ幅は市場予想の範囲内ではあったものの、インフレが抑制されるまで利上げを継続するという米金融当局の姿勢が改めて示され、株式市場が下落したこと。
- (上昇要因) 米国主要企業等の7-9月期決算内容を受けて、株式市場が上昇したこと。
- (上昇要因) 10月の米CPI（消費者物価指数）上昇率が市場予想を下回ったことで、FRBによる利上げペースの減速期待から、株式市場が上昇したこと。

## <Bコース>

### ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っていないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

### ◎分配金

収益分配については、基準価額水準等を勘案して見送らせていただきました。  
留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第1期
	2022年8月22日～ 2022年12月6日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	157

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <Aコース/Bコース>

### ○投資環境

期中の世界株式市場は、各国の中央銀行の金融政策や経済活動状況などに左右される展開となりました。

### ○当ファンドのポートフォリオ

[野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）] および [野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）] は、主要投資対象である [野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

### [野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式マザーファンド]

#### ・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

#### ・期中の主な動き

株式への投資にあたっては、企業の質（高いブランド力や強固な販売網等の無形資産に基づく競争優位性等）に着目した投資候補銘柄の選定を行ない、バリュエーション評価（株価の割高・割安の度合い）等を勘案して組入銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築してまいりました。

### [野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）]

#### ・株式組入比率

実質株式組入比率は、概ね高位を維持しました。

#### ・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建資産に対して対円での為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図りました。

### [野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）]

#### ・株式組入比率

実質株式組入比率は、概ね高位を維持しました。

#### ・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行ないませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

**[野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式マザーファンド]**

株式への投資にあたっては、企業の質（高いブランド力や強固な販売網等の無形資産に基づく競争優位性等）に着目した投資候補銘柄の選定を行ない、バリュエーション評価（株価の割高・割安の度合い）等を勘案して組入銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築してまいります。

**[野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）]**

主要投資対象である〔野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

**[野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）]**

主要投資対象である〔野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジを行ないません。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

## &lt;Aコース&gt;

## ○1万口当たりの費用明細

（2022年8月22日～2022年12月6日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 30	% 0.324	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(29)	(0.306)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(1)	(0.010)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.008)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 有 価 証 券 取 引 税	22	0.236	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(22)	(0.236)	
(c) そ の 他 費 用	1	0.009	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.003)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	53	0.569	
期中の平均基準価額は、9,387円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

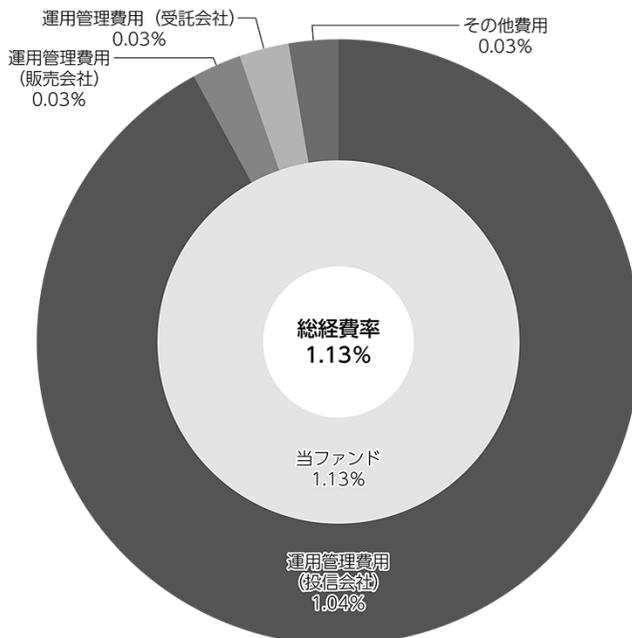
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## <Aコース>

### (参考情報)

#### ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.13%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## &lt;Aコース&gt;

## ○売買及び取引の状況

(2022年8月22日～2022年12月6日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式マザーファンド	千口 1,056,990	千円 1,037,190	千口 17,560	千円 17,000

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2022年8月22日～2022年12月6日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,219,740千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	931,805千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.38

\*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年8月22日～2022年12月6日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2022年8月22日～2022年12月6日)

設定時残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 149	百万円 —	百万円 —	百万円 149	当初設定時における取得

## &lt;Aコース&gt;

## ○組入資産の明細

(2022年12月6日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式マザーファンド		1,039,429	1,031,841

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2022年12月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式マザーファンド	1,031,841	97.2
コール・ローン等、その他	29,655	2.8
投資信託財産総額	1,061,496	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（2,321,365千円）の投資信託財産総額（2,483,535千円）に対する比率は93.5%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=136.55円、1英ポンド=166.70円、1スイスフラン=144.97円。

## ＜Aコース＞

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年12月6日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,064,255,297
コール・ローン等	10,825,676
野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式マザーファンド(評価額)	1,031,841,474
未収入金	1,021,588,147
(B) 負債	1,005,572,334
未払金	1,003,997,103
未払解約金	132,544
未払信託報酬	1,438,414
未払利息	19
その他未払費用	4,254
(C) 純資産総額(A-B)	1,058,682,963
元本	1,081,877,254
次期繰越損益金	△ 23,194,291
(D) 受益権総口数	1,081,877,254口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,786円

(注) 期首元本額は149,000,000円、期中追加設定元本額は936,155,227円、期中一部解約元本額は3,277,973円、1口当たり純資産額は0.9786円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額1,924,639円。(野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式マザーファンド)

(注) 分配金の計算過程（2022年8月22日～2022年12月6日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2022年8月22日～ 2022年12月6日
a. 配当等収益(経費控除後)	1,459,058円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	42,942,841円
c. 信託約款に定める収益調整金	627,024円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	45,028,923円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	416円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

## ○損益の状況（2022年8月22日～2022年12月6日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 890
支払利息	△ 890
(B) 有価証券売買損益	45,853,157
売買益	64,967,977
売買損	△19,114,820
(C) 信託報酬等	△ 1,450,368
(D) 当期損益金(A+B+C)	44,401,899
(E) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△67,596,190 (△ 1,342)
(売買損益相当額)	(△67,594,848)
(F) 計(D+E)	△23,194,291
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△23,194,291
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△67,596,190 ( 627,024)
(売買損益相当額)	(△68,223,214)
分配準備積立金	44,401,899

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## <Aコース>

### ○分配金のお知らせ

---

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

### ○お知らせ

---

該当事項はございません。

## &lt;Bコース&gt;

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 8 月22日～2022年12月 6 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	32	0.324	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(30)	(0.306)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	( 1)	(0.010)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 1)	(0.008)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 有 価 証 券 取 引 税	22	0.222	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(22)	(0.222)	
(c) そ の 他 費 用	1	0.008	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.002)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	55	0.554	
期中の平均基準価額は、9,742円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

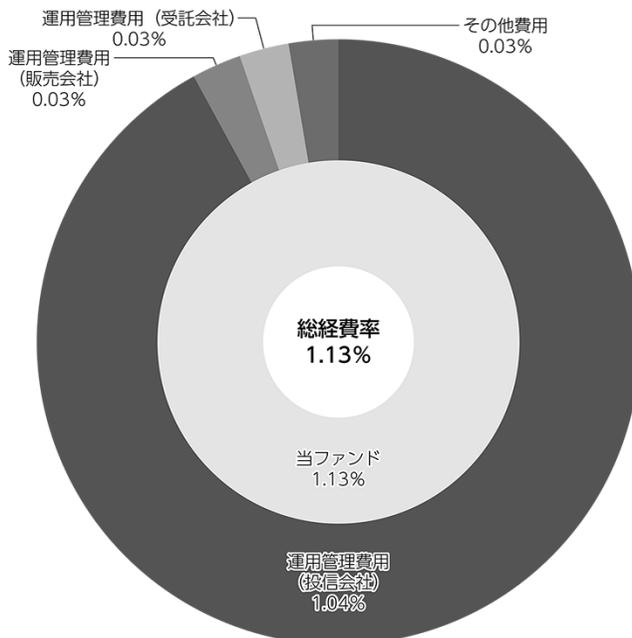
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## <Bコース>

### (参考情報)

#### ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.13%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## &lt;Bコース&gt;

## ○売買及び取引の状況

(2022年8月22日～2022年12月6日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式マザーファンド	千口 1,367,108	千円 1,334,592	千口 12,607	千円 12,400

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2022年8月22日～2022年12月6日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,219,740千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	931,805千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.38

\*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年8月22日～2022年12月6日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2022年8月22日～2022年12月6日)

設定時残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	当初設定時における取得

## ＜Bコース＞

## ○組入資産の明細

(2022年12月6日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式マザーファンド		1,354,501	1,344,613

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2022年12月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式マザーファンド	1,344,613	98.8
コール・ローン等、その他	16,692	1.2
投資信託財産総額	1,361,305	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（2,321,365千円）の投資信託財産総額（2,483,535千円）に対する比率は93.5%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=136.55円、1英ポンド=166.70円、1スイスフラン=144.97円。

## ＜Bコース＞

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年12月6日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,361,305,062
コール・ローン等	13,691,723
野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式マザーファンド(評価額)	1,344,613,339
未収入金	3,000,000
(B) 負債	1,764,144
未払解約金	192,155
未払信託報酬	1,567,300
未払利息	24
その他未払費用	4,665
(C) 純資産総額(A－B)	1,359,540,918
元本	1,372,134,855
次期繰越損益金	△ 12,593,937
(D) 受益権総口数	1,372,134,855口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,908円

(注) 期首元本額は1,000,000円、期中追加設定元本額は1,381,895,450円、期中一部解約元本額は10,760,595円、1口当たり純資産額は0.9908円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額1,924,639円。(野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式マザーファンド)

(注) 分配金の計算過程(2022年8月22日～2022年12月6日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2022年8月22日～ 2022年12月6日
a. 配当等収益(経費控除後)	1,536,875円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	19,110,928円
c. 信託約款に定める収益調整金	979,865円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	21,627,668円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	157円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

## ○損益の状況（2022年8月22日～2022年12月6日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 713
支払利息	△ 713
(B) 有価証券売買損益	22,220,481
売買益	22,437,393
売買損	△ 216,912
(C) 信託報酬等	△ 1,571,965
(D) 当期損益金(A+B+C)	20,647,803
(E) 追加信託差損益金	△33,241,740
(配当等相当額)	(△ 570)
(売買損益相当額)	(△33,241,170)
(F) 計(D+E)	△12,593,937
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△12,593,937
追加信託差損益金	△33,241,740
(配当等相当額)	( 979,865)
(売買損益相当額)	(△34,221,605)
分配準備積立金	20,647,803

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## <Bコース>

### ○分配金のお知らせ

---

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

### ○お知らせ

---

該当事項はございません。

# 野村フランチャイズ・パートナーズ・ 世界株式マザーファンド

## 運用報告書

第1期（決算日2022年12月6日）

作成対象期間（2022年8月22日～2022年12月6日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。株式への投資にあたっては、企業の質（高いブランド力や強固な販売網等の無形資産に基づく競争優位性等）に着目した投資候補銘柄の選定を行ない、バリュエーション評価（株価の割高・割安の度合い）等を勘案して組入銘柄を決定します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

**野村アセットマネジメント**

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準	価額		株組入比率	株先物比率	純資産額
		騰落	騰落率			
(設定日) 2022年8月22日	円 10,000		% -	% -	% -	百万円 148
1期(2022年12月6日)	9,927		△0.7	95.6	-	2,376

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っていないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		株組入比率	株先物比率
		騰落	騰落率		
(設定日) 2022年8月22日	円 10,000		% -	% -	% -
8月末	9,679		△3.2	97.2	-
9月末	9,307		△6.9	84.3	-
10月末	10,080		0.8	92.2	-
11月末	9,941		△0.6	96.2	-
(期末) 2022年12月6日	9,927		△0.7	95.6	-

\*騰落率は設定日比です。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時10,000円から期末9,927円となりました。

- (下落要因) 2022年8月、ワイオミング州のジャクソンホールで開かれた経済シンポジウムにおいてFRB（米連邦準備制度理事会）のパウエル議長がインフレ抑制を最優先に利上げを継続する方針を示したことで、早期の利下げ期待が後退し、株式市場が下落したこと。
- (下落要因) 9月、FOMC（米連邦公開市場委員会）での利上げ幅は市場予想の範囲内ではあったものの、インフレが抑制されるまで利上げを継続するという米金融当局の姿勢が改めて示され、株式市場が下落したこと。
- (上昇要因) 米国主要企業等の7-9月期決算内容を受けて、株式市場が上昇したこと。
- (上昇要因) 10月の米CPI（消費者物価指数）上昇率が市場予想を下回ったことで、FRBによる利上げペースの減速期待から、株式市場が上昇したこと。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

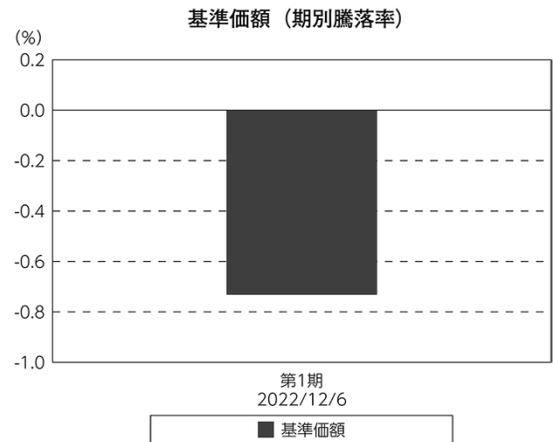
### ・期中の主な動き

株式への投資にあたっては、企業の質（高いブランド力や強固な販売網等の無形資産に基づく競争優位性等）に着目した投資候補銘柄の選定を行ない、バリュエーション評価（株価の割高・割安の度合い）等を勘案して組入銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築してまいりました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っていないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



## ◎今後の運用方針

株式への投資にあたっては、企業の質（高いブランド力や強固な販売網等の無形資産に基づく競争優位性等）に着目した投資候補銘柄の選定を行ない、バリュエーション評価（株価の割高・割安の度合い）等を勘案して組入銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築してまいります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## ○1万口当たりの費用明細

(2022年8月22日～2022年12月6日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	円 23 (23)	% 0.231 (0.231)	(a)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	1 ( 0 ) ( 0 )	0.007 (0.005) (0.002)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用  信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	24	0.238	
期中の平均基準価額は、9,751円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年8月22日～2022年12月6日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 2,291 ( 90)	千米ドル 11,266 ( -)	百株 -	千米ドル -
	イギリス	1,331	千英ポンド 2,025	20	千英ポンド 10
	スイス	201	千スイスフラン 1,911	0.93	千スイスフラン 9

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

\*（ ）内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2022年8月22日～2022年12月6日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	2,219,740千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	931,805千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.38

\* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年8月22日～2022年12月6日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2022年12月6日現在)

## 外国株式

銘柄	株数	期末		業種等
		評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	千米ドル	千円	
ALPHABET INC-CL A	49	492	67,186	インタラクティブ・メディアおよびサービス
BOOKING HOLDINGS INC	2	522	71,327	ホテル・レストラン・レジャー
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	129	1,048	143,221	医薬品
CORTEVA INC	92	598	81,722	化学
EBAY INC	115	507	69,366	インターネット販売・通信販売
ELECTRONIC ARTS	48	629	86,016	娯楽
FOX CORP-CLASS A	212	679	92,808	メディア
INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	55	597	81,597	資本市場
JOHNSON & JOHNSON	27	496	67,768	医薬品
MICROSOFT CORP	16	408	55,825	ソフトウェア
NEWS CORP/NEW-CL A-W/I	323	605	82,691	メディア
NEWS CORP/NEW-CL B-W/I	88	167	22,922	メディア
NINTENDO CO LTD-UNSPONS ADR	549	567	77,544	娯楽
ORACLE CORPORATION	81	644	87,951	ソフトウェア
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	91	945	129,051	タバコ
S&P GLOBAL INC	11	409	55,918	資本市場
SALESFORCE INC	39	528	72,128	ソフトウェア
TRUNSUMION	77	471	64,337	専門サービス
WESTERN UNION CO	171	242	33,156	情報技術サービス
ZILLOW GROUP INC - A	27	102	13,992	不動産管理・開発
ZILLOW GROUP INC - C	146	549	75,102	不動産管理・開発
AON PLC	22	682	93,254	保険
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,381 22	11,899 —	1,624,892 <68.4%>
(イギリス)		千英ポンド		
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	205	703	117,323	タバコ
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	72	435	72,658	家庭用品
INFORMA PLC	668	413	68,862	メディア
GSK PLC	365	520	86,714	医薬品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,311 4	2,072 —	345,559 <14.5%>
(スイス)		千スイスフラン		
NOVARTIS AG-REG	88	763	110,677	医薬品
NESTLE SA-REG	40	452	65,573	食品
CIE FINANCIERE RICHEMONT-BR A	71	866	125,683	繊維・アパレル・贅沢品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	200 3	2,082 —	301,933 <12.7%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,894 29	— —	2,272,386 <95.6%>

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の&lt; &gt;内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○投資信託財産の構成

(2022年12月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 2,272,386	% 91.5
コール・ローン等、その他	211,149	8.5
投資信託財産総額	2,483,535	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建純資産(2,321,365千円)の投資信託財産総額(2,483,535千円)に対する比率は93.5%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=136.55円、1英ポンド=166.70円、1スイスフラン=144.97円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年12月6日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,572,598,343
コール・ローン等	209,348,776
株式(評価額)	2,272,386,879
未収入金	89,089,569
未収配当金	1,773,118
差入委託証拠金	1
(B) 負債	196,068,837
未払金	190,568,728
未払解約金	5,500,000
未払利息	109
(C) 純資産総額(A-B)	2,376,529,506
元本	2,393,930,506
次期繰越損益金	△ 17,401,000
(D) 受益権総口数	2,393,930,506口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,927円

(注) 期首元本額は148,490,000円、期中追加設定元本額は2,275,609,089円、期中一部解約元本額は30,168,583円、1口当たり純資産額は0.9927円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額  
・野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式ファンド Bコース(野村SMA・EW向け) 1,354,501,198円  
・野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式ファンド Aコース(野村SMA・EW向け) 1,039,429,308円

## ○損益の状況 (2022年8月22日~2022年12月6日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,128,005
受取配当金	3,116,061
受取利息	18,766
支払利息	△ 6,822
(B) 有価証券売買損益	31,083,447
売買益	140,719,770
売買損	△109,636,323
(C) 保管費用等	△ 64,550
(D) 当期損益金(A+B+C)	34,146,902
(E) 追加信託差損益金	△ 52,316,485
(F) 解約差損益金	768,583
(G) 計(D+E+F)	△ 17,401,000
次期繰越損益金(G)	△ 17,401,000

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。